

新型コロナウイルス感染防止対策にかかる南相馬市長メッセージ

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けて、様々なご協力をいただいている市民の皆様へ心から感謝申し上げます。

市内では、6月下旬以降、スナックやバー、ナイトクラブといった接待を伴う飲食店の従業員や利用客を中心に急激に感染が拡大し、接待を伴う飲食店に関連した3件のクラスターが発表されるなど、6月26日から7月21日までの26日間で71名の新規感染者が確認されました。

市では、この事態を感染拡大の「非常事態」と位置づけ、7月6日から7月31日までの期間、市独自の特別対策を実施するとともに、福島県による市内飲食店への時短要請や、相双保健所による濃厚接触者等の囲い込みなど、関係機関と連携し、感染拡大を防止するためのできる限りの対応を講じてまいりました。

この間の市民の皆様、事業者の皆様のご理解とご協力により、7月29日現在、市内の感染の急拡大の波を抑えることができている状況です。こうしたことから、7月28日に開催された福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会議において、県で実施する南相馬市の「集中対策」については、予定どおり7月31日をもって終了することで決定されました。そのうえで、不要不急の外出自粛、市内公共施設の利用制限、市主催イベント等の中止・延期などの市独自の「特別対策」についても、予定どおり7月31日をもって終了することといたします。

市民の皆様一人ひとりのご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

一方で、全国的に新型コロナウイルスの感染の急拡大が続いており、県内でも、7月19日から7月25日までの変異株検査の結果、デルタ株の主要変異であるL452R変異が15.6%検出されており、また、郡山市に加え新たに福島市及びいわき市においても県による集中対策が実施されるなど、依然として厳しい状況が続いています。

このような状況を踏まえ、市民の皆様へ、8月以降も、引き続き、基本的な感染防止対策の徹底をお願いするとともに、特に、今年の夏は、以下の点について改めてご協力をお願いいたします。

【市民の皆様へのお願い】

感染拡大地域との不要不急の往来は、原則、中止・延期をお願いします。

- ・旅行や帰省等を含め県境を越える移動についても、ご家族やご友人とよく相談し、極力控えるようお願いします。
- ・帰省するとしても、市内のワクチン接種を8月末までに終える予定であることを考慮し、延期するようお願いします。

飲食の機会は感染のリスクが高くなるので、特に注意すること。

- ・少人数、短時間とし、普段一緒にいない人との飲食は極力避けて下さい。
- ・会話時はマスクを着用し、大声での会話は控えて下さい。

立て続けに3件のクラスターが発生したことや、歴史ある相馬野馬追が2年連続で大幅な規模縮小での開催となったことなどを踏まえ、今後とも感染防止対策の徹底をお願いします。

市では、新型コロナウイルスの感染対策において、ワクチン接種が最も重要であると考えております。8月末には希望される全市民へのワクチン接種を終える予定としておりますので、市民の皆様には、積極的にワクチン接種を検討いただきますようお願いいたします。

令和3年7月29日 午後7時00分現在

南相馬市長 門馬和夫

新型コロナウイルスワクチン Q&A

Q. コロナワクチンにはどのような成分が入っていますか。

- A. コロナワクチンに含まれるのは次の3つの成分だけです。
1. mRNA本体（タンパク質を作る設計図）
 2. mRNAを包む脂質などの膜
 3. 塩類と糖類、緩衝剤
- これらの成分はどれもこれまでにヒトの体に投与した経験があるもので、危険な物質は含まれていません。

Q. このワクチンは、「遺伝子組換え技術」なのでしょうか？

- A. 今回のmRNAワクチンが遺伝子に組み込まれるということではなく、遺伝子組換え技術ではありません。

Q. ワクチンのmRNAは体内に残りますか？

- A. ワクチンのmRNAは細胞の中のタンパク質を合成する工場（リボソーム）で使われたあと、すぐに分解されてしまいます。

Q. mRNAワクチンの有効性について教えてください。

- A. mRNAワクチンの臨床試験では、ワクチンを受けなかった人と比べて、発症する確率が約95%減っていました。
- ファイザー社のワクチンを受けた約60万人と、受けていない約60万人を比べたイスラエルの大規模な研究でも非常に高い有効性が報告されています。

Q. ワクチンは一年間で開発されましたが、安全なのですか？

- A. 今回のワクチン開発が早く進んだ理由は多くあります。
- 例えば、今回のコロナウイルスに似ている2002年に流行した重症急性呼吸器症候群（SARS）の研究や、ウイルスの遺伝子の配列を調べる技術の進歩、mRNAワクチンに関する長年の研究の蓄積があったことがあげられます。
- 一方で、mRNAワクチンの安全性を評価する臨床試験は、従来のワクチンと比べても大規模であり、高い安全性が確認されています。

Q. mRNAワクチンの安全性について教えてください。

- A. 臨床試験では「打ったところの痛み」、「頭痛」、「発熱」などの副反応が確認されています。これらの反応は免疫反応がしっかりと起こっていることを示すもので、2回目の接種のあとに多いです。こういった症状は、接種して3日以内に始まり、1~2日で治まることがほとんどです。つらいときは解熱剤や痛み止めを使用しても問題ありません。
- これらの副反応以外に、ごく稀に重いアレルギー症状（アナフィラキシー）が確認されています。

Q. 花粉症や食物アレルギーがありますが、ワクチンを接種して大丈夫ですか？

- A. 花粉症や食物アレルギーがある方でも接種可能です。
- 厚生労働省は、他のものに対するアナフィラキシーを起こしたことのある方も接種してもよいとしています。